



### 3歳未満の子を養育する旨の申出書

※ 裏面を参照のうえご記入ください。

(フリガナ) 申出者名			申出者 生年月日	昭和 平成	年	月	日
	長期組合員番号		基礎年金番号				
養育することとなった日及びその事由 (該当する番号を○で囲んでください。)	平成 年 月 日	1 出生組 2 養子縁組 3 同居開始	○で囲んだ日の属する月の前月に加入していた制度を○で囲んでください。 1 第2号厚生年金保険(国家公務員) 2 第3号厚生年金保険(地方公務員) 3 第1号厚生年金保険(民間会社) 4 第4号厚生年金保険(私立学校教職員) 5 国民年金(自営業者、被扶養配偶者等)				
養育の特例を開始した日及びその事由 (該当する番号を○で囲んでください。)	平成 年 月 日			1 出生等 2 育休終了 3 産休終了 4 就職			
養育することとなった子	(フリガナ) 氏名		生年月日	平成	年	月	日
共済組合証明欄	上記のとおり相違ありません。		支部又は所属所長 文部科学省共済組合東京芸術大学支部長 平成 年 月 日 氏名 印				

国家公務員共済組合法、厚生年金保険法の規定による養育特例の適用を受けるため、上記のとおり申し出ます。

国家公務員共済組合連合会理事長 殿

平成 年 月 日 申出者 住所

氏名 印

(組合担当者記入欄)

組合コード	07	支部等コード	450
-------	----	--------	-----

当該子に係る産前産後休業 (掛金免除)の期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
---------------------------	---------------------

## 記入にあたっての留意事項

### 養育することとなった日及びその事由 欄

- \* 子が出生したことによる場合…「1 出生」を○で囲み、出生年月日を記入
- \* 子と申出者の養子縁組による場合…「2 養子縁組」を○で囲み、養子縁組を行った日を記入
- \* 子との同居による場合…「3 同居開始」を○で囲み、同居を開始した日を記入
- \* ○を囲んだ事由の属する月の前月に加入していた制度を○で囲んでください。

※ 「5」を○で囲んだ場合

養育することとなった日が、 平成 27 年 9 月 30 日以前の場合	養育することとなった日の属する月の前月前 1 年以内に「1」及び「2」の制度に加入していないときは、養育特例は受けることができません。
養育することとなった日が、 平成 27 年 10 月 1 日以降の場合	養育することとなった日の属する月の前月前 1 年以内に「1」から「4」の制度に加入していないとき、養育特例は受けることができません。

### 養育の特例を開始した日及びその事由 欄

- \* 子が出生したことによる場合(男性組合員に限ります。)  
…「1 出生等」を○で囲み、出生年月日を記入  
※ 3歳未満の子を養育している期間中に次の子が生まれた場合にも同様に記入してください。  
(併せて前の子にかかる「3歳未満の子を養育しない旨の届出書」もご提出ください。)
- \* 子と申出者の養子縁組による場合…「1 出生等」を○で囲み、養子縁組を行った日を記入
- \* 子との同居による場合…「1 出生等」を○で囲み、同居を開始した日を記入
- \* 育児休業(掛金免除)の終了による場合  
…「2 育休終了」を○で囲み、育児休業が終了した日の翌日を記入
- \* 産前産後休業(掛金免除)の終了による場合(女性組合員に限ります。)  
…「3 産休終了」を○で囲み、産前産後休業が終了した日の翌日を記入
- \* 組合員になったことによる場合…「4 就職」を○で囲み、組合員となった日を記入

(共済組合担当者向け)

### 当該子に係る産前産後休業(掛金免除)の期間 欄

申出者が、この届出に係る子の産前産後休業(掛金免除)を取得している場合は、その期間を記入してください。